

瀬田川プランクトン調査結果速報

～ 第8報 ～

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成15年5月26日

1. 最も数が多かった種類（優占種）

植物プランクトン第1優占種



Uroglena americana
(ウログレナ)
黄色鞭毛藻類

楕円形の細胞が球状の寒天質の表層に規則正しく配列し、球状の群体を形成する。各細胞は不等長の2本の鞭毛を有する。

動物プランクトン第1優占種



Polyarthra vulgaris
(ハネウデワムシ)
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント

植物プランクトンは、淡水赤潮の原因となるウログレナ (*Uroglena americana*) が前回より1/10と大幅に減少したが、引き続き優占種となっている。動物プランクトンではワムシ類が更に増加し、ハネウデワムシの他にカメノコウワムシ、ドロワムシが多く見られた。繊毛虫のコードネラが第2優占種となった。本種は、つぼの形をした殻を持つのが特徴である。

2. 見つかった主なプランクトンとその数（個体数）

(1) 動物プランクトン

第 1 優 占 種		個体数 (個体 / l)
輪虫類	<i>Polyarthra vulgaris</i>	790

第 2 優 占 種		個体数 (個体 / l)
繊毛虫類	<i>Codonella cratera</i>	190

* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

瀬田川植物プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター

琵琶湖水質担当

(2) 植物プランクトン

平成15年5月26日

第8報

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Uroglena americana</i>	1800		
(黄鞭) <i>Pseudopedinella</i> sp.	10		
(珪) <i>Melosira granulata</i> var. <i>angustissima</i>	11		
(珪) <i>Melosira italica</i>	4		
(珪) <i>Stephanodiscus carconensis</i> var. <i>pusilla</i>	10		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	32		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	4		
(渦) <i>Peridinium berolinense</i>	20		
(渦) <i>Ceratium hirundinella</i>	4		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	80		
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	80		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	10		
(緑) <i>Carteria</i> sp.	20		
(緑) <i>Elakatothrix gelatinosa</i>	20		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	1810	86.0	58.8
(珪) 珪藻綱	61	2.9	3.0
(渦) 渦鞭毛藻綱	24	1.1	15.9
(褐) 褐色鞭毛藻綱	160	7.6	18.9
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	50	2.4	3.3
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総 細 胞 数	2105	総体積	7.90E+05
種 類 数	14	(μm^3)	

注1) 細胞数の単位は(細胞 / ml)

ただし * 印の種は群体数(群体 / ml)

注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位: %)

注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。